

村立小中学校で入学式挙行 期待に胸膨らませ、思い出に残る式となりました



4月9日、村内の3つの小学校で入学式が行われました。当日は雨が降りしきる中、校庭の桜は新入生を歓迎するかのように咲き誇っていました。

新入生は緊張した面持ちでの入場でしたが、一人一人の名前が読み上げられると「はい」と元気よく返事をしていました。その姿はとても立派で、保護者も感慨深い表情で見守っていました。

令和7年4月より、3つの小学校は統合され、「美浦小学校」として開校される予定です。今回は各小学校における最後の入学式となりました。

また、同日、美浦中学校でも入学式が行われ、新入生を迎えての新たな生活がスタートしました。

【令和6年度入学者数】

・安中小 11名 ・大谷小 31名 ・木原小 18名 ・美浦中 91名

木原城山まつり開催 一面に広がるチューリップ

4月7日、木原城址城山公園において、「第28回木原城山まつり」が開催されました。

オープニングの際はあいにくの曇りでしたが、午後からは暖かな日差しが差し込み、少し動くと汗ばむ陽気となりました。

チューリップが咲き誇る会場では、ステージ発表やイベント、各種物産展が行われ、たくさんの人々で賑い、笑顔があふれていました。遊歩道の八重桜の織りなす色鮮やかな風景とあわせ、来場者の心に残るイベントとなりました。



美浦ステークス開催

美浦村の名前を冠したレース

3月31日、中山競馬場(千葉県船橋市)において、美浦村の名前を冠したレース「美浦ステークス」が開催されました。

レース当日、競馬場内の特設会場では、美浦村観光協会による米や野菜、水産加工品などの特産品の販売や、みほ一すによる村のPRが行われ、多くのお客さんと賑わいました。

表彰式では、美浦村地域おこし協力隊の南川麻綾さんがプレゼンターを務め、優勝馬の関係者へトロフィーや記念品が贈られました。



おめでとうございます

【優勝】 キングズパレス号
馬主：有限会社 社台レースホース

調教師：戸田 博文 さん
騎手：松岡 正海 さん

5代目地域おこし協力隊に南里育香さんが着任！

美浦村産ワインで競走馬の里のブランド力向上を目指す



4月2日、役場において、村では5代目となる、「地域おこし協力隊」の委嘱状交付式が行われ、南里育香(なんり いくか)さんに、村長から委嘱状が交付されました。

南里さんは、元々ワインメーカーでブドウの栽培と醸造に携わってきました。令和4年の冬、村内のワイン用ブドウ畑にて、引退した競走馬が農耕馬として活躍していることを知り、村への関心が高まったとのこと。

今後は、競走馬の里美浦村の知名度アップや美浦村産ワインでブランド力向上を目指し、行政ではできなかった柔軟な地域おこし策を展開していただきます。

新消防団長に中島修一氏就任

村の安心安全を守る

4月11日、役場において、4月1日付で新消防団長に就任された中島修一氏に、辞令が交付されました。

中島団長は、昭和61年に消防団に入団。平成24年4月から11年間副団長を務められており、前団長の勇退に伴い、このたび団長に選任されました。団長就任にあたり、「前任の松本団長をはじめ、多くの消防団員が守り続けてきた村の安心安全を引き続き継続できるよう、団員を統率し、体制強化を図りたい。」と決意を述べられました。

また、4年間団長としてご活躍くださった松本博志氏は、昭和57年の消防団への入団以降、長きに渡り、村の消防・防災にご尽力いただきました。深く感謝申し上げます。



美浦中学校で平和学習 核兵器廃絶と戦争のない世界を願って

3月5日、美浦中学校において、広島に投下された原子爆弾で被爆し、3歳で原爆孤児となった飯田国彦さんが講演し、生徒たちに平和の大切さを訴えました。

79年前の8月6日、飯田さんは爆心地から約900m離れた場所で母と姉とともに被爆し、1か月後に母と姉は帰らぬ人となりました。自身は奇跡的に助かりましたが、脳腫瘍や染色体異常などの放射線によるとみられる複数の病や、心的外傷後ストレス障がい（PTSD）に苦しんできたと明かしました。

聞き入る生徒に、飯田さんは悲劇を繰り返してはいけないことを訴え、「核兵器の本当の恐ろしさを知ったら、どんな場合でも核兵器は使うことはできない」と強調しました。質疑応答では「この惨劇を風化させないために、私たちにできることはありますか」と生徒から問われると、「今日聞いた原爆の悲惨さを人に伝えてください。」と述べました。



ボトルtoボトル 水平リサイクル事業に関する協定締結 循環型社会を目指し、ペットボトルのリサイクルを促進

3月27日、村は稲敷市と江戸崎地方衛生土木組合と共同で、サントリーグループとペットボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業に関する協定を締結しました。

この協定は、使用済みペットボトルのリサイクルを推進するためのもので、資源循環型社会の実現を目指すものです。この協定により、4月以降、家庭から排出され、江戸崎地方衛生土木組合に運ばれたペットボトルは、リサイクル業者において破碎・粉砕・洗浄などの処理工程を経て、再原料化され、新たなペットボトルとして生まれ変わります。



霞ヶ浦二橋建設促進に関する要望活動 茨城県の総合的な高速交通体系の整備のために

2月16日、茨城県庁において、中島村長を含む霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟(会長 谷島洋司(石岡市長))が、大井川県知事をはじめ県関係者に対し、霞ヶ浦二橋の早期実現に関する要望活動が行われました。

霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟…美浦村を含む11市町村で構成。千葉県から首都圏中央連絡自動車道を越え、霞ヶ浦の2つの入江に橋(右図)を架け、茨城空港を経て幹線道路を整備することを目的としています。平成8年に同盟が設立されてから長年にわたり建設促進へ向けた活動を継続しています。

